

奈良文化財研究所 創立60周年記念講演

遺跡をさぐり、しらべ、いかす

奈文研60年の軌跡と展望

奈良文化財研究所 編

新刊案内

よろしくご検討お願い申し上げます

(株) クバプロ



A5判並製 186頁(カラー4頁)

発行日：2013年9月30日

本体価格2,000円+税

ISBN978-4-87805-131-9 C1021

ジャンル：日本古代史(都城)

歴史読み物、文化遺産保護

飛鳥・藤原宮跡、平城宮跡の発掘に端を発し、常に考古学調査の最先端を切り拓いてきた、奈文研の創設60周年を記念し、その成果と展望をまとめて紹介。

巻末には60年の歴史を振り返る貴重な写真を掲載。また、奈良開催の奈文研60周年記念講演会を収録した『日中韓 古代都城文化の潮流』も近日発行!!

■目次■

●はじめに

奈良文化財研究所所長 松村 恵司

●発掘が塗りかえる古代史-都城の発掘調査60年- 都城発掘調査部主任研究員 渡辺 丈彦

●古寺社の古文書が語りだす歴史-南都の古文書調査から- 文化遺産部歴史研究室長 吉川 聡

●掘らずに土の中をみる-遺跡探査の応用と成果- 埋蔵文化財センター主任研究員 金田 明大

●文化遺産を守り伝える科学技術-伝統の技と科学の力- 埋蔵文化財センター 保存修復科学研究室長 高妻 洋成

●遺跡を現在に活かし、未来に伝える-平城宮跡の保存と整備- 文化遺産部景観研究室長 平澤 毅

●海外の遺跡をまもる-国際協力としての文化遺産保護- 企画調整部国際遺跡研究室研究員 石村 智

●写真で見る奈文研の60年史-奈文研60年の軌跡と展望-